

生涯教育文献目録 (2001. 1～2001. 12)

日本生涯教育学会

—凡 例—

- (1) 学会員を対象に 2002 年 5 月から 7 月にかけて行った生涯教育文献調査の回答をもとに、2001 年に発行された文献を収録した。
- (2) 領域別の整理は執筆者自身による回答を尊重し、複数回答のものは、一番最初にあげられた領域のみを採用した。
- (3) 領域は次のとおりである。

- | | |
|--------------------------|---|
| 1 生涯教育一般 | 7 生涯教育と学校教育
(学校改革・学校開放も含む) |
| 1-a 生涯教育の理念 | 8 生涯教育と地域社会 |
| 1-b 生涯教育の歴史 | 9 生涯教育と企業内教育 |
| 1-c 生涯教育の内容 | 10 生涯教育と放送・通信教育 |
| 1-d 生涯教育の方法 | 11 生涯教育と関連教育施設
(生涯教育センター・社会教育
センター・公民館・文化センタ
ーなど諸施設論を含む) |
| 1-e 自己(管理的)学習論 | 12 学習情報・相談 |
| 1-f ライフ・サイクル論 | 13 人材活用 |
| 1-g 学習社会論 | 14 生涯教育と行政施策
(答申・報告書等も含む) |
| 1-h その他 | 15 生涯教育の推進事例 |
| 2 生涯教育と青少年教育 | 16 諸外国の生涯教育 |
| 3 生涯教育と成人教育
(婦人教育も含む) | 17 その他 |
| 4 生涯教育と高齢者教育 | |
| 5 生涯教育と社会体育・スポーツ | |
| 6 生涯教育と家庭教育 | |

- (4) 文献は各領域ごとに I～VII に類別した。さらに執筆者(著書、翻訳者、編者)を 50 音順とした。
- (5) 記載事項は次のとおりである。
- 〈単行本〉①編著者名②書名③発行所名
- 〈雑誌・報告書等の論文・記事〉①執筆者名②標題③所収誌名④巻・号
⑤発行所名⑥所収頁
- (6) 頁数の表記は次のとおりとした。
- 3～5 頁→3-5 頁

1 生涯教育一般

I. 著 書

- ・井内慶次郎, 山本恒夫, 浅井経子, 『改訂 社会教育法解説』, (財)全日本社会教育連合会, 1-127 頁。
- ・伊藤俊夫, 『生涯学習社会の社会教育』, (財)全日本社会教育連合会, 1-126 頁。
- ・今西幸蔵, 『21 世紀の宝・生涯学習』, 澤標, 1-207 頁。
- ・瀬沼克彰, 『日本型生涯学習の特徴と振興策』, 学文社, 1-378 頁。
- ・瀬沼克彰, 『余暇プロジェクト関連事業の活動領域と発展戦略』, 日本地域社会研究所, 1-355 頁。
- ・山本恒夫, 『事象と関係の理論』, 筑波大学生涯学習学研究室, 全 66 頁。
- ・山本恒夫, 『21 世紀生涯学習への招待』, 協同出版, 全 205 頁。

IV. 雑誌論文

- ・浅井経子, 「教育改革の時代における生涯学習研究の課題」, 『日本生涯教育学会年報』第 22 号, 73-88 頁。
- ・浅井経子, 「生涯学習領域におけるコーディネートの機能とその手法開発」, 『淑徳短期大学研究紀要』第 40 号, 1-14 頁。
- ・瀬沼克彰, 「日本型生涯学習の振興に関する研究」, 『ヒューマンリサーチ』, 早稲田大学大学院, 348-349 頁。

V. 編纂書論文

- ・赤尾勝己, 「生涯学習の理論と課題」, 嶺井正也編著『教育理論の継承と発展』, アドバンテージサーバー, 177-195 頁。
- ・赤尾勝己, 「生涯学習理論の革新」, 情況出版編集部編『教育の可能性を読む』, 情況出版, 87-105 頁。
- ・浅井経子, 「学習者及び施設利用者調査」 「大学等エクステンション担当者調査」, 『「生涯学習パスポート（生涯学習記録票）に関する調査研究報告書」 (平成 12 年度)』, (財)日本生涯学習総合研究所, 22-42 頁。

1-a 生涯教育の理念

I. 著 書

- ・野村佳子,『未来創造学としての生涯教育—野村生涯教育原論Ⅱ—』,光村教育図書,230頁。

IV. 雑誌論文

- ・西村美東土,「生涯学習—資源枯渇のない消費」,『消費者情報』320号,関西消費者協会,10-13頁。

V. 編集書論文

- ・伊藤俊夫,「生涯学習とはなにか」,伊藤俊夫編『生涯学習社会の社会教育』,(財)全日本社会教育連合会,7-12頁。
- ・今野雅裕,「生涯学習理念による教育の改革」,2001年度大会論文集『国内公共政策と国際公共政策の交錯』,日本公共政策学会,24-31頁。

1-b 生涯教育の歴史

IV. 雑誌論文

- ・蛭田道春,「わが国における社会教育委員の歴史研究—第二次世界大戦前を中心に—」,『大正大学研究紀要』第86号,大正大学出版部,265-318頁。
- ・前田寿紀,「敗戦体験後における報徳主義者佐々井信太郎の社会建設への提言—普遍的原理に着目して—」,『千葉県社会事業史研究』第29号,千葉県社会事業史研究会,10-24頁。
- ・前田寿紀,「明治期における「(中央)報徳会」機関誌『斯民』の鈴木寿太郎記事の報徳解釈」,『淑徳大学社会学部研究紀要』第35号,淑徳大学,205-217頁。

V. 編纂書論文

- ・今西幸蔵,「生涯学習の歴史的背景」, 福留 強編『まちづくり ボランティア』, ブックハウスジャパン, 64-69 頁。
- ・今野雅裕,「わが国における生涯学習の流れ」, 白石・廣瀬編『生涯学習を拓く』, ぎょうせい, 175-200 頁。

1-c 生涯教育の内容

II. 編 書

- ・原 義彦,「現代的課題に対応する学習プログラム」, 白石克己他編『学習プログラムの革新—学習者がつくる学びの世界—』, ぎょうせい, 36-46 頁。

1-d 生涯教育の方法

IV. 雑誌論文

- ・蛭田道春,「社会教育研修方法の変遷」,『社会教育』第 56 巻 6 月号, 全日本社会教育連合会, 30-35 頁。

V. 編纂書論文

- ・浅井経子,「これからの遠隔公開講座に関する意向調査」(公民館長対象の調査),『メディアを活用した生涯学習活動の促進に関する調査研究報告書』(平成 12 年度), (財)日本視聴覚教育協会, 54-63 頁。
- ・浅井経子,「生涯学習領域におけるこれからのメディア活用」,『メディアを活用した生涯学習活動の促進に関する調査研究報告書』(平成 12 年度), (財)日本視聴覚教育協会, 87-90 頁。
- ・伊藤俊夫,「学習成果の活用」, 伊藤俊夫編『生涯学習社会の社会教育』, (財)全日本社会教育連合会, 115-118 頁。
- ・伊藤俊夫,「ひとつつくりの糧・体験」, 伊藤俊夫編『学校と地域の教育力を結ぶ』, (財)全日本社会教育連合会, 5-12 頁。

1-g 学習社会論

V. 編纂書論文

- ・田中雅文, 「「民」が広げる学習世界」, 白石克己・田中雅文・廣瀬隆人編『「民」が広げる学習世界」, ぎょうせい, 1-19 頁。
- ・山本恒夫, 「生涯学習社会と情報化」, 国立教育会館社会教育研修所編『情報化に関する学習とネットワーク」, 国立教育会館社会教育研修所, 27-32 頁。

1-h その他

V. 編纂書論文

- ・赤尾勝己, 「世界システムにおける成人教育の分析視角」, 『多元的経済社会の展開と地域・文化・エスニシティの問題に関する多角的研究」, 関西大学経済・政治研究所, 145-175 頁。

2 生涯教育と青少年教育

IV. 雑誌論文

- ・白木堅信, 「小中学生の実体験活動と仮想体験活動の特徴」, 『日本生涯教育学会論集』22, 日本生涯教育学会, 137-144 頁。
- ・谷井淳一, 「小・中学生の生活体験やキャンプ経験が主体的積極的行動傾向に与える影響」, 『国立オリンピック記念青少年総合センター研究紀要』創刊号, 国立オリンピック記念青少年総合センター, 21-33 頁。
- ・西村美東士, 「若者の居場所—行政がつくる教育的意図は何か」, 『研修』218号, 兵庫県自治研修所, 16-22 頁。
- ・林 幸克・谷井淳一, 「子どもと交流できる野外活動を取り入れた教育養成研修プログラム」, 『授業づくりネットワーク』第14巻第1号, 学事出版, 52-54 頁。
- ・水野信太郎, 「文科系学生たちの手による木造建築物の試作」, 編集委員『北

海道浅井学園大学生涯学習研究所研究紀要』創刊号，北海道浅井学園大学生涯学習研究所，115－130 頁。

V. 編纂書論文

- ・伊藤俊夫，「子どもの元気の回廊づくり」，『子どもの元気を育てる家庭と地域』，埼玉県社会教育主事等研究会，1－8 頁。
- ・伊藤俊夫，「154 の通学合宿」，伊藤俊夫編『学校と地域の教育力を結ぶ』，(財)全日本社会教育連合会，101－106 頁。
- ・斎藤哲瑯，「実体験不足の克服」，伊藤俊夫編『学校と地域の教育力を結ぶ』，(財)日本社会教育連合会，13－20 頁。
- ・瀬沼克彰，「児童，生徒，ボランティア活動」，嵯峨座晴夫編『少子高齢社会と子どもたち』，中央法規出版，94－114 頁。
- ・中村正之，「遊び活動が子供の人間関係形成に果たす役割についての実証的研究」，『常磐大学コミュニティ振興学部紀要』創刊号，常磐大学，65－104 頁。
- ・林 幸克・谷井淳一，「青少年のボランティア意識の構造に関する研究」，『日本生涯教育学会論集』22，日本生涯教育学会，145－155 頁。
- ・林 幸克・谷井淳一，「青少年教育施設におけるボランティア研修会の効果に関する検討」，『国立オリンピック記念青少年総合センター研究紀要』創刊号，国立オリンピック記念青少年総合センター，9－19 頁。

VI. 調査報告

- ・由利忠四郎，「戦後の青少年教育について（昭和 20 年～30 年代）」，『社会教育史調査研究報告①』，あきた社会教育懇話会，4－17 頁。

3 生涯教育と成人教育（婦人教育も含む）

I. 著 書

- ・橋本 勲，「標茶酪農の歴史考（下）」，釧路短期大学生涯教育センター第 5 講座『標茶町の歴史』（9），釧路短期大学生涯教育センター・標茶町教育委員会，1－56 頁（総頁数 56 頁）。

IV. 雑誌論文

- ・瀬沼克彰,「教育改革の時代と民間教育事業の課題」,『年報』,日本生涯教育学会,101-118頁。
- ・瀬沼克彰,「サテライト教室で進む大学の生涯学習化」,『生涯学習空間』No29,ボイックス,24-29頁。
- ・瀬沼克彰,「社会人のための大学院大学をめざす東京雑学大学」,『社会教育』11月号,全日本社会教育連合会,54-57頁。
- ・瀬沼克彰,「10周年を迎えた社会参加を考える会」,『社会教育』10月号,全日本社会教育連合会,90-93頁。
- ・瀬沼克彰,「全国生涯学習ネットワーク課題と今後」,『社会教育』5月号,全日本社会教育連合会,72-74頁。
- ・瀬沼克彰,「大都市住民の余暇活動の変化」,『農林統計調査』2月号,農村統計協会,4-10頁。
- ・瀬沼克彰,「第2回全国生涯学習フォーラムの開催」,『社会教育』8月号,全日本社会教育連合会,44-47頁。
- ・瀬沼克彰,「21世紀初頭の余暇を展望する」,『かんぽ資金』3月号,簡保資金振興センター,4-9頁。
- ・瀬沼克彰,「平成12年の余暇,生涯学習関連文献目録」,『余暇学研究』No4,日本余暇学会,139-143頁。
- ・瀬沼克彰,「余暇の有効活用」,『フレッシュ・ナウ』No41,警察署福祉施設協会。
- ・蛭田道春,「公民館における成人男子事業の課題」,『月刊公民館』第524号,全国公民館連合会,4-10頁。
- ・蛭田道春,「我が国における娯楽の研究—昭和初期を中心にして—」,『大正大学研究論叢』第9号,大正大学出版部,151-173頁。

V. 編纂書論文

- ・瀬沼克彰,「これから伸びる余暇・観光教育」,徳久珠雄『観光教育』,くんぶる,133-150頁。

4 生涯教育と高齢者教育

I. 著 書

- ・後田逸馬,『シニア王国・鹿児島』,春苑堂出版。
- ・嵯峨座晴夫,瀬沼克彰,堀 勝洋,田中雅文,山下敏夫,『少子高齢社会と子どもたち—児童・生徒の高齢化問題に関する意識調査を中心に—』,中央法規,全 221 頁。

IV. 雑誌論文

- ・浅井経子,「高齢社会編 日頃の生活を見直す」,『月刊 公民館』第 532 号,28-31 頁。
- ・伊藤敏夫,「生活設計をつくる」,『月刊 公民館』No524,(社)全国公民館連合会,29-31 頁。

V. 編纂書論文

- ・瀬沼克彰,「元気ワールド八王子を実現するために」,『元気ワールド八王子』,八王子市,394-400 頁。
- ・瀬沼克彰,「高齢化問題への意識」,嵯峨座晴夫編『少子高齢社会と子どもたち』,中央法規出版,115-134 頁。
- ・瀬沼克彰,「高齢者の社会参加のしくみづくり」,『検討会報告書』,八王子市,1-14 頁。
- ・瀬沼克彰,「生涯学習と生きがいづくり」,『健康生きがいづくりアドバイザー養成テキスト』,健康生きがい開発時間,53-86 頁。
- ・瀬沼克彰,「余暇と生涯学習で生きがい創造」,『いきがい—21 世紀の高齢者像』,八王子市,84-95 頁。
- ・林 幸克,「高齢者のボランティア意識の形成に関する研究」,『ボランティア学習研究』第 2 号,日本ボランティア学習協会,63-70 頁。

5 生涯教育と社会体育・スポーツ

I. 著 書

- ・鈴木 漠,「地域のスポーツ活動」,伊藤俊夫編『学校と地域の教育力を結ぶ』, (財)全日本社会教育連合会, 113-118 頁。

V. 編纂書論文

- ・今野雅裕,「教育改革の時代における社会教育行政改革の方向」,『日本生涯教育学会年報』第 22 号, 日本生涯教育学会, 61-72 頁。

6 生涯教育と家庭教育

V. 編纂書論文

- ・西村美東土,「親子関係における気づき過程とその支援—公開講座による子育て支援の実践」,『徳島大学大学開放実践センター紀要』12 巻, 徳島大学大学開放実践センター, 71-95 頁。
- ・堀井啓幸,「家庭教育力の向上と学社協働」,白石克己・佐藤晴雄・田中雅文編『学校と地域でつくる学びの未来』,ぎょうせい, 53-74 頁。

7 生涯教育と学校教育 (学校改革・学校開放も含む)

I. 著 書

- ・池木 清,『男女共同参画教育実践抄録』,日本橋女学館短期大学, 1-79 頁。

II. 編 書

- ・今野雅裕,①「開かれた学校とPTAの支援・参加」,②「学校評議員制度とPTA」,③「学び選択制とPTA」,『PTAは学校にどう参加していくのか』,(社)日本PTA全国協議会,①1-12 頁,②32-41 頁,③42-49 頁。
- ・山本恒夫,浅井経子,坂井知志編著,『「総合的な学習の時間」のための学社連携・融合ハンドブック』,文憲堂, 1-201 頁。

IV. 雑誌論文

- ・浅井経子,「学社融合による教育の改革」,『信濃教育』第1372号,13-26頁。
- ・浅井経子,「学社融合による子どもと地域の育ち」,『信濃教育』第1379号,17-36頁。
- ・浅井経子,『『総合的な学習の時間』を支援する公民館の役割』,『月刊公民館』第529号,4-8頁。
- ・池木 清,「各都道府県教委は教員人事を男女平等に行ってきたか」,『男女共同参画研究』第1号,日本橋学館大学池木研究室,1-23頁。
- ・池木 清,「小・中・高校のジェンダー・フリー度の実態」,『教育関係資料』No8,日本橋女学館短期大学,1-16頁。
- ・池木 清,「都道府県間格差著しい公立学校女性管理職登用の実態」,『女子教育研究』第31号,日本橋女学館短期大学,1-28頁。
- ・池木 清,「日本橋女学館短期大学での14年を顧みて」,『教育関係資料』No8,日本橋女学館短期大学,17-33頁。
- ・伊藤俊夫,「地域の教育活動とかかわっていく上での留意点」,『教職研修』No352,教育開発研究所,74-75頁。
- ・香川正弘,「大学開放の今日的課題」,『生涯学習フォーラム』第4巻第2号,紀尾井生涯学習研究会,165-177頁。
- ・中村正巳,「大学開放の一考察～生涯学習社会における大学変革の可能性」,『紀要』第18号,秋草学園短期大学,157-170頁。
- ・山本恒夫,「学校教育と社会教育の融合」,『教育展望』第47巻第4号,教育調査研究所,4-13頁。
- ・山本恒夫,「教育問題の根底にあるもの」,『都道府県展望』No512,全国知事会,4-7頁。
- ・浅井経子,「学社連携・融合のためのネットワーク社会の形成へ」,『平成12年度学社連携・融合フロンティア事業報告書』,福島県教育委員会,6-10頁。
- ・浅井経子,「地域とともに創る総合的な学習」,信濃教育会『私と地域で創りだす「総合的な学習」』,信濃教育会出版部,7-14頁。
- ・伊藤俊夫,「学社融合の今日的意義」,伊藤俊夫編『学校と地域の教育力を結

ぶ』, (財)全日本社会教育連合会, 35-40 頁。

V. 編纂書論文

- ・田中雅文, 「学校と地域組織の協働」, 白石克己・佐藤晴雄・田中雅文編『学校と地域でつくる学びの未来』, ぎょうせい, 137-158 頁。
- ・山田 誠, 「生涯学習情報を子どもたちの学びに活かすー『総合的な学習の時間』及び地域教材開発のための生涯学習情報の活用ー」, 平成 12 年度学部等特別経費研究 総合学習に関する多面的・実践的研究『学際的アプローチを用いた地域教材の開発研究』, 愛媛大学教育学部, 71-79 頁。

VI. 調査報告

- ・石川政男, 「栃木県における『総合的な学習の時間』の現状とその在り方を考える。』, 『全国高校定通制教頭協会関東支部教頭研究協議会』, 神奈川県高校定通制教頭協会, 2-8 頁。
- ・堀井啓幸, 「学校施設の整備に関する使い手側の意識調査」, 『学校施設の新たな展開を支えるための学校施設の整備に関する調査研究』, 35-45 頁。

8 生涯教育と地域社会

II. 編 書

- ・伊藤俊夫, 「学校と地域の教育力を結ぶ」, 伊藤俊夫, (財)全日本社会教育連合会, 1-142 頁。

IV. 雑誌論文

- ・伊藤俊夫, 「地域の信頼に応える学校づくり」, 『教職研修』No343, 教育開発研究所, 56-57 頁。
- ・廣瀬隆人・田中雅文, 「学習支援 NPO のネットワーク」, 『日本生涯教育学会論集』22, 日本生涯教育学会, 37-48 頁。
- ・水野信太郎, 「江別市内に現存する組積造建築物の調査研究」, 紀要編集委員会, 『北海道浅井学園大学生涯学習システム学部研究紀要』創刊号, 北海道浅井学園大学, 41-56 頁。

V. 編纂書論文

- ・瀬沼克彰,「これからの社会人の指導者養成」,『社会人生涯能力開発インストラクターテキスト』,生知会生涯学習開発財団,9-26頁。
- ・瀬沼克彰,「地域で活動する指導者養成」,『社会人生涯能力開発インストラクターテキスト』,生知会生涯学習開発財団,27-40頁。
- ・出相泰裕,「大学と地域社会の協働」,白石克己・佐藤晴雄・田中雅文編『学校と地域でつくる学びの未来』,ぎょうせい,159-175頁。
- ・堀井啓幸,「地域環境の学習環境化」,児島邦宏・天笠茂編『地域と学校の共生—開かれた学校—』,ぎょうせい,198-228頁。

VI. 調査報告

- ・今野雅裕・廣瀬隆人・上条秀元,「生涯学習による地域づくりの現状～自治体の動向～」,『日本生涯教育学会論集』22,日本生涯教育学会,25-36頁。

9 生涯教育と企業内教育

VI. 調査報告

- ・山本恒夫,「企業人事担当者調査」,日本生涯学習総合研究所編『生涯学習パスポート(生涯学習記録票)に関する調査研究報告書』,日本生涯学習総合研究所,43-50頁。

10 生涯教育と放送・通信教育

IV. 雑誌論文

- ・岩永雅也,「生涯学習と大学ネットワーク」,『日本生涯教育学会年報』第22号,日本生涯教育学会,31-48頁。

V. 編纂書論文

- ・鈴木克夫,「ますます進む学習スタイルのボーダレス化」,『Professional e-learning—ネット留学マニュアル』,バベル・プレス,76-79頁。

- ・鈴木克夫,「読む・書く・問う」の指導～自立学習型遠隔教育の実践,『かわる学生・かわる大学～学習支援の実践と課題～』,メディア教育開発センター, 26-35 頁。
- ・山本恒夫,「バーチャル生涯学習空間の創造を目指して」,日本視聴覚教育協会編『「メディアを活用した生涯学習活動の促進に関する調査研究」報告書』,日本視聴覚教育協会, 76-78 頁。

11 生涯教育と関連教育施設

I. 著 書

- ・宮本 一,「日本の青少年教育発展史(上巻)～青年の家等編～」,日常出版株式会社 全 650 頁。
- ・宮本 一,「日本の青少年教育発展史(下巻)～少年自然の家等編～」,日常出版株式会社 全 701 頁。

II. 編 書

- ・今野雅裕,「公民館活動の再構築に向けて」,『地域の子どもが健やかに育つー新しい公民館活動』,(社)全国公民館連合会, 8-29 頁。
- ・原 義彦,「公民館と青少年の教育・学習施設との連携による青少年育成事業の展開について」,今野雅裕編『地域の子どもが健やかに育つ新しい公民館活動』,全国公民館連合会, 86-93 頁。

IV. 雑誌論文

- ・瀬沼克彰,「大きく変わる生涯学習施設」,『季刊文教施設』No1, 文教施設協会, 48-50 頁。
- ・瀬沼克彰,「探訪・生涯学習施設」,『生涯学習空間』No26, 27, ポイックス。
- ・瀬沼克彰,「レジャーの活発化とレジャー産業の拡大」,『余暇学研究』No4, 日本余暇学会, 17-29 頁。

V. 編纂書論文

- ・赤尾勝己,「生涯学習施設としての博物館」,『人権にはたす博物館の役割』,

大阪人権博物館, 40-54 頁。

- ・赤尾勝己,「生涯学習推進の歩みと将来像」, 時岡禎一郎編著『おおさか発 文化・生涯学習情報』, 学文社, 207-220 頁。
- ・瀬沼克彰,「大都市型文化・生涯学習施設の先駆け」, 時岡禎一郎編『おおさか発 文化・生涯学習情報』, 学文社, 193-206 頁。
- ・瀬沼克彰,「地域の生涯学習センターなど学習施設と学校, 民間機関との連携・協力」,『東京における生涯学習関連機関の交流機関集会報告書』, 東京都生涯学習センター, 97-126 頁。
- ・田中雅文,「生涯学習センターの最前線」, 白石克己・廣瀬隆人・稲葉 隆・佐藤晴雄編『クリエイティブな学習空間をつくる』, ぎょうせい, 55-75 頁。
- ・林 幸克・谷井淳一,「青少年教育施設におけるボランティア研修会の効果に関する検討」,『国立オリンピック記念青少年総合センター研究紀要』創刊号, 国立オリンピック記念青少年総合センター, 9-19 頁。
- ・原 義彦,「公民館の利用形態に対する生涯学習関連施設との連携の影響」,『日本生涯教育学会年報』第 22 号, 161-172 頁。

VI. 調査報告

- ・今野雅裕,『全国公民館子育て支援活動調査研究報告書』, (社)全国公民館連合会。

13 人材活用

IV. 雑誌論文

- ・伊藤俊夫,「学校支援ボランティアの必要」,『社会教育』No602, (財)全日本社会教育連合会, 12-14 頁。

V. 編纂書論文

- ・伊藤俊夫,「ボランティア・その学習と活動」, 伊藤俊夫編『学校と地域の教育力を結ぶ』, (財)全日本社会教育連合会, 21-28 頁。

14 生涯教育と行政施策（答申・報告書等も含む）

IV. 雑誌論文

- ・伊藤俊夫,「地方分権と社会教育委員のあり方」,『社教情報』No44, (社)全国社会教育委員連合, 32-35 頁。
- ・山本恒夫,「IT活用の生涯学習推進施策の方向」,『社教情報』No44, 全国社会教育委員連合, 4-8 頁。

V. 編纂書論文

- ・伊藤俊夫,「生涯学習時代の社会教育」,伊藤俊夫編『生涯学習社会の社会教育』,(財)全日本社会教育連合会, 13-22 頁。
- ・今西幸蔵,「わが国の生涯学習施策の現状」,福留 強編『まちづくりボランティア』,ブックハウスジャパン, 70-79 頁。
- ・田中雅文,「民間セクターと行政の連携」,白石克己・廣瀬隆人編『生涯学習を拓く』,ぎょうせい, 107-115 頁。

VI. 調査報告

- ・稲生勁吾,「生涯学習とまちづくりをすすめるボランティア活動—生涯学習・まちづくり・ボランティアを支援する総合センターの設置の提言」,『調布市生涯学習推進協議会』,調布市生涯学習推進室, 1-53 頁。
- ・野崎嘉男,「平成 11 年度の渡島市庁管内・檜山支庁管内市町村教育委員会主催の「絵画関係講座」に関する調査」,『北海道浅井学園大学生涯学習システム学部研究紀要』創刊号,北海道浅井学園大学, 109-126 頁。
- ・蛭田道春・谷井淳一・鴻上哲也・小山忠弘・高岡信也・上條秀元,『(文部科学省委嘱調査研究事業報告書)社会教育委員活動の活性化をめざして—社会教育委員の活動実態調査—』,(社)全国社会教育委員連合, 160 頁。
- ・山本恒夫,「自治体人事担当者調査」,日本生涯学習総合研究所編『生涯学習パスポート(生涯学習記録票)に関する調査研究報告書』,日本生涯学習総合研究所, 51-58 頁。

15 生涯教育の推進事例

II. 編 書

- ・福代昭二・今野雅裕ほか、『地域ぐるみ子ども育成活動へのPTAの取り組み PTA実践事例集(16)』, (社)日本PTA全国協議会。

16 諸外国の生涯教育

IV. 雑誌論文

- ・今西幸蔵,『平和の文化国際年』と21世紀の学習,『社会教育』第56巻664号,全日本社会教育連合会,68-74頁。
- ・今西幸蔵,「平和の文化と生涯学習」,京都学園大学人間文化学会紀要『人間文化研究』第5号,京都学園大学人間文化学会,65-76頁。
- ・岩永雅也,「アジアの新たな動向—公園遠隔教育の飛躍的進歩」,『教育学術新聞』平成14年5月8日,教育学術新聞,2-2頁。
- ・金子忠史,「入学担当事務局(A0)による大学入学者選抜—米国の現状と日本への適用をめぐる—」,青山学院大学文学部『紀要』第42号,青山学院大学文学部,15-31頁。

V. 編纂書論文

- ・金子忠史,「米国における職業を中心とする統合コアに関する研究」,国立教育政策研究所『諸外国の「総合的学習」に関する研究』,国立教育政策研究所,33-65頁。
- ・出相泰裕,「多様な資格を取得できる継続教育」,石附 実・笹森 健編著『オーストラリア・ニュージーランドの教育』,東信堂,101-113頁。

VI. 調査報告

- ・出相泰裕,「オーストラリアにおける大学開放」,佐藤新治研究代表者『大学における生涯学習推進に関する研究』,大分大学生涯学習教育研究センター,195-205頁。

17 その他

I. 著 書

- ・根木 昭,『日本の文化政策—「文化政策学」の構築に向けて—』,勁草書房, 1-228 頁。
- ・野口正路,『十二支の詩』,土曜美術社出版販売, 30 頁。

II. 編 書

- ・根木 昭,「文化法制の展開」,池上 惇・端 信行・福原義春・堀田 力編『文化政策入門』,丸善ライブラリー, 214-218 頁。

IV. 雑誌論文

- ・植野真臣・吉田富美男・石橋貴純・樋口良之・三上善貴・根木 昭,「複数クラスにおける遠隔授業の特性分析」,『日本教育工学会論文誌』Vol. 25, No2, 日本教育工学会, 115-128 頁。
- ・大木裕子・根木 昭,「日本のオーケストラの組織課題」,『長岡技術科学大学研究報告』第 23 号, 長岡技術科学大学, 45-53 頁。
- ・北村智子・根木 昭,「企業メセナにおける非資金協力についての一考察」,『長岡技術科学大学研究報告』第 23 号, 長岡技術科学大学, 55-61 頁。
- ・今野雅裕,「生涯学習パスポート構想の経緯と展望」,『「生涯学習パスポート」(生涯学習記録票)に関する調査研究報告書』,(財)日本生涯学習総合研究所, 7-16 頁。
- ・沢崎達夫・谷井淳一,「適応指導教室の運営および活動の現状と課題」,『目白大学人間社会学部紀要』創刊号, 目白大学人間社会学部, 57-70 頁。
- ・谷井淳一・藤原恵美,「小・中学生用自然体験効果測定尺度の開発」,『野外教育研究』第 5 巻第 1 号, 日本野外教育学会, 39-47 頁。
- ・谷井淳一,「事業効果測定のための調査票とその利用法」,『国立オリンピック記念青少年総合センター』, 国立オリンピック記念青少年総合センター, 1-90 頁。
- ・根木 昭,「遺跡の公園化とまちづくり」,『埋蔵文化財ニュース』104, 奈良

国立文化財研究所埋蔵文化財センター，16－20 頁。

- ・橋本 勲，「標茶町との提携を中心とした釧路短期大学生涯教育年報」平成 12 年度，『釧路短期大学生涯教育センター・標茶町教育委員会』編，釧路短期大学生涯教育センター・標茶町教育委員会，1－10 頁。
- ・林 幸克・谷井淳一，「子どもと交流できる野外体験を取り入れた教員養成研修プログラム」，『授業づくりネットワーク』No185，学事出版，52－54 頁。
- ・林 幸克・谷井淳一，「青少年のボランティア意識の構造に関する研究－ボランティア研修の今後の方向性についての検討－」，『日本生涯教育学会論集』第 22 巻，日本生涯教育学会，145－155 頁。

V. 編纂書論文

- ・稲生勁吾，「障害者の生涯学習」，小原 信・神長 勲編『日本の福祉－福祉の多様化と介護保険制度』，以文社，167－194 頁。

VI. 調査報告

- ・瀬沼克彰，「都民の学習ニーズに関する調査結果」，『都民の学習ニーズに関する調査研究』，東京都生涯学習センター，7－18 頁。